

西条校区タウンミーティング開催報告

日 時	令和3年12月15日（水） 19：00～20：30	
場 所	西条公民館2階ホール	
参加者	<p>【地域側：14人】西条校区連合自治会長・副会長3人・青少年健全育成部長・環境部長・防災部長・婦人部長、社会福祉協議会西条支部長、百寿会長（老人クラブ）、VG令和会長（婦人会）、西条北中学校PTA会長、西条小学校PTA会長、消防団西条分団長</p> <p>【行政側：4人】市長、西条公民館長、危機管理監、建設部長</p>	
次 第	<p>1 開会 2 挨拶（西条校区連合自治会長）</p> <p>3 市長挨拶・事業説明</p> <p>4 意見交換：テーマ「地域活動の活性化と子育て・教育環境の充実」</p> <p style="margin-left: 20px;">①地域活動の活性化</p> <p style="margin-left: 20px;">②通学路の安全確保</p> <p style="margin-left: 20px;">③子どもの居場所づくりへの支援 （現状と課題説明及び参加者全員による話し合い）</p> <p>5 まとめ・閉会</p>	
概 要		
自治会長挨拶	市政の状況を教わりながら、皆さんと共により安全、安心で魅力ある西条校区を目指し、共に話し合っていきたい。	
市長事業説明	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス対策については、ワクチン接種の安全安心な環境整備と、市民生活を取り戻すため経済対策に重点を置く。 ・西条市の将来推計人口は30年間で約28%減少（2015年 108,174人 ⇒2045年 78,307人） ・人口減少対策として移住推進に力を入れており、みんなで「共創」して持続可能なまちを実現していきたい。 	
参加者の発言要旨		市の発言要旨（及び対応）
<p><地域活動の活性化について></p> <p>西条校区内の世帯数は増えているものの、自治会への加入世帯は減少している。加入者の高齢化や校区外への転居、核家族化が原因だと考えられる。</p> <p>加入するメリットを聞かれることも多いので、魅力ある連合自治会と組織づくりを目指し、「入って良かった」と言ってもらえるようにしなければならない。</p> <p>この2年は、悔しくもコロナにより実施できていないが、運動会やレクリエーション大会、祭り等、楽しめる行事への参加機会を増やして、西条校区の良さを知ってもらいたい。</p> <p>また、環境整備や防災では、横の連携も大切である。婦人会や老人会、小中学校、PTA等すべて含めてより活性化できるよう、計画をしっかりと進めていきたい。</p> <p>行政においても、加入促進、PR活動や広報活動にご協力いただきたい。</p>		<p>西条市全体でも同様に世帯数は増えているが、人口は減少している。地域での帰属意識が薄らいでいると思う。</p> <p>自治会をはじめ、各種団体の所属人数は減るのに役職数が同じであれば、どんどん負担が大きくなるのは明らかである。</p> <p>行政も加入の呼びかけを行っていくが、各団体における役職を整理することも大切で、一つの団体だけでなく、みんなが参加して地域の課題を解決していく「地域自治組織」の設立を概ね小学校区単位で推進している。</p> <p>旧西条市のエリアでは、既に橘と大町地区が地域自治組織を設立し、市とパートナーシップ協定を結んでいる。</p> <p>これからは、みんなで知恵を出し合いながら、コミュニティの形を変えていくことも必要ではないか。現在抱えている負担が少しでも軽減されるかもしれない。</p> <p>行政も伴走させていただくので、西条校区においても始まりの一步をぜひお声がけいただきたい。</p> <p>また、公民館は社会教育、生涯学習の場のみならず、地域づくりの拠点ともなる。今後は地域包括ケアも進めていく。</p>
<p><消防分団員の確保について></p> <p>西条分団は定員35人のところ、現在29人で構成している。欠員となっているので、ぜひ若い人にお誘いいただきたい。</p>		<p>総務省からの消防団員の処遇改善に係る通知により、令和4年度からの消防団員報酬引き上げを検討している。</p> <p>だからと言って欠員をカバーできるとは言えないが、消防団員が地域の皆さんと、団員候補となる方がいないか話し合ってもらい、若いメンバーを発掘してほしい。とりわけ西条には祭り文化があり、地域の繋がりが強いと思うので、これが入団促進に活かしやすいのではないかと考える。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
<p><地域団体への加入促進について> 自治会に加入しない家庭が増え、社会福祉協議会の会費や共同募金の協力依頼の訪問が難しくなり、会費徴収額や募金額も減ってきている。 地域での交流が希薄になっているが、災害時は特に「助け合いの精神」が求められるので、普段から関係づくりができるよう新築住宅やアパートなどに入居される方に自治会加入を勧めていただきたい。</p>	<p>確かに、最近では自治会に加入するメリットを質問する人が多いようだ。 行政サービスの一つである広報紙は皆さんからの税金で作成しているため、自治会加入の有無に関わらず、委託業者が全戸に配布する方法に切り替えた。 地域内でもサービスを利用する人には負担の公平性を図る必要があると思う。 例えば、自治会管理のごみステーションを会員以外の方が使用する場合は、掃除当番に加わってもらうなど、一定のルールが必要だろう。 メリットがあるところには、デメリット（費用負担など）も平準化を図れるよう、行政からもお願いしていきたい。</p>
<p><老人クラブ会員の確保について> 老人会も会員が減ってきている。新規会員の勧誘をしているが、なかなか難しい。 魅力的な催しができず、参加しようという気が低下している点もある。</p>	<p>無理に一人ひとりに勧誘するのではなく、気の合う趣味のグループなどで、少しずつ輪を広げるようなアプローチでも良いのではないかと思う。</p>
<p><通学路の安全確保について> 西ひうち方面への通勤車両が通学路を通り抜けており、危険である。 （県道西条港線～欄干橋手前～本陣川ポンプ場～新堀～産業道路高架下） 現在工事中の市道喜多川朔日市線が開通すれば、さらに交通量の増加とともに通り抜け車両が増えるのではないかと心配している。時間帯通行規制を設けるのも良いが、沿線にお住まいの方の同意が必要であり、難しいと考えている。 については、児童・生徒の安全のため、西ひうちの企業様へ通勤経路の見直しや交通安全指導等、働きかけをお願いしたい。 小学生だけでなく、西条北中学生も自転車で通学する道である。企業方への要望にあたっては、北中PTAも連名に加わりたい。</p>	<p>児童が犠牲になった先般の交通事故を受け、市独自の予算措置による通学路の緊急安全対策を行っている。「通学路注意」の路面標示や看板設置、白線の引き直しを実施中である。 企業への働きかけについては、市長が務める西条市交通安全推進協議会長、また西条校区の皆さん（連合自治会長、PTA会長等）も連名に加わっていただく形で、ひうち立地企業連絡協議会等へ要望書を提出してはどうかと考える。 通学児童や通行する人の安全を確保する観点から、まずは企業へ呼びかけていくので、校区の皆さんにもご協力をお願いしたい。</p>
<p>本陣川沿いの通りは、朝夕の通勤・退勤時に非常に混雑する。狭くて離合もできず、対向車が来ると個人の土地に車両が入り込むこともあるため、難しいとは思いますが川の方に道を拡幅できないものか。 また、スピードを出して危ないので、時速30kmの速度規制をすれば良いと思う。</p>	<p>ポンプ場があり、本陣川の方に拡げるのは難しい。どちらかと言うと宅地側にならざるを得ないが、住宅が立地しているため、拡幅は困難だろう。 また、道が広くなると余計にスピードを出し、通行が増える可能性がある。 車両を減らす対策として、例えば時間帯通行規制は、大町や玉津校区の通学路においても取り入れられており、通行車両を進入させない方法として有効である。 ただ、近隣の方も出入りに支障が生じるので、地元の協力をいただくのが条件になるうかと思う。</p>
<p><市道整備について> 建設中の市道喜多川朔日市線は、歩道も広く確保していただき、通学の安全が図られる。 しかし、松之巷西側区域の本陣川水門上の交差点においては、完成後も信号機の設置予定はなく、道路照明は既設の水銀灯照明1灯を継続使用する予定と聞いている。 5つの道路が交わる変形交差点で、車線が減少するボトルネック形状であるため、薄暮時や夜間の視認性が懸念される。 通学路にもなっており、安全第一の対策をとるため、交差点に道路照明を追加で設置してほしい。</p>	<p>ポンプ場付近の道路は、通学路の合同点検時にも危険箇所として挙げられており、先ほどの朝夕通勤時の通り抜けも含めて、実態を確認している。 安全対策として、北側の歩車道を分ける防護柵設置や交差点のカラー舗装、区画線などを行う。 ご指摘の交差点は、警察とも横断歩道の位置を見直すなどの協議をしており、あわせて道路照明についても、追加設置の方向で動いている。 喜多川朔日線は両側に歩道が付く街路で、令和4年の春には全線供用を予定している。開通後は、交通の流れに変化があるかと思うので、交通量の調査もしながら、現地の実態や安全対策などを注視していきたい。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
<p><子どもの居場所づくり支援について> 共働き家庭の増加や、コロナによる制限のため、放課後、家で孤立する子ども達が多いのではないかと感じる。 西条校区では、こどもの国が閉館となり、子ども達が集い、遊べる場がなくなったことが心配である。 放課後に子ども達が安心して過ごせる居場所を地域ぐるみで作っていききたい。その際の施設使用料などを補助していただけないか。</p> <p>こどもの国のリニューアルを楽しみにしている。西条校区の子はお祭りが好きだから、その文化に触れられる機会があれば嬉しい。</p>	<p>「子どもの居場所づくり」という地域課題について、地域自治組織の中で話し合いながら対応を考えていくこともできる。 また、現状の取り組みとして「放課後子ども教室（ゆめチャレンジ教室）」では、多くの子ども達が参加し、まさに地域の中で育まれていると思う。 今後、小学校のコミュニティスクール導入と合わせ、地域の拠点である公民館から「心豊かにたくましく生きる西条っ子」を育てる地域づくり・人づくりを進めたい。 こどもの国は「西条市ひと・夢・未来創造拠点複合施設」に整備し、その中にNPO法人の設立をサポートする市民活動支援センターの機能が移転する。NPO法人となれば、ふるさと納税の指定寄附を活用することも可能である。</p>
<p>地域の中での交流が少なくなっているため、大人から子どもに声をかけづらい実態がある。繋がりを持つためには、自治会に加入することが契機となる。 子どもの顔を知ってもらうためにも、自治会ははじめ、地域の交流を促進したい。</p> <p>小学校と地域が一緒に行う行事もコロナによりしばらく開催できていなかったが、今年は恒例の伝統行事「しめ縄づくり」、来月1月には「とうどさん」を計画している。 最近の子ども達は、外で遊ぶことや祖父母とのふれあいが減っている。近所のブランコやすべり台も老朽化で撤去されていく。 NPO団体等の支援のほか、そういった遊び場の環境整備も考慮していただきたい。</p>	<p>これまでも「地域の中で子どもを育てよう」という動きがあり、愛護班や青少年健全育成協議会の方々のお世話になってきた。 地域の伝統行事、文化等の継承を皆さんにお願いしたい。 都市公園という位置づけで、飯岡校区に「西条東部公園」が完成（3月20日開園）するので、ぜひ出向いていただきたい。 一方で、地域にあるちびっこ広場では、遊具が使用不可のまま経過することがないように、撤去の予算も組んでいく。 将来世代の負担を見据え、公共施設は面積を減らしていくため、同じように更新することはできない。コンパクトではありながらも工夫された遊戯施設を目指す。</p>
<p><ソーラー発電設備について> 校区内の避難施設（小学校や体育館など）が老朽化している。北中学校の体育館は新設されたが、その際ソーラーパネルの設置がなかった。 非常時に電気の供給ができるように、今後もソーラー発電の導入を検討してほしい。</p>	<p>災害が発生した場合、発電機を使い、72時間対応できるような体制を整えている。その後は各機関やボランティアなどの支援や物資が届くようになる。 災害発生時には、時系列で状況を整理しながら、その時に必要な救援物資をどこに依頼するかということも判断していく。そのために企業と応援協定を結んだり、日頃から情報収集したり、事前の備え等も含めて積極的に考えていきたい。</p>
<p><ごみ問題について> 冒頭の市長説明で「ごみを削減しよう」とあったが、地区内でも排出量が増えている。生ごみはたい肥にしている家庭もあるようだ。 市役所前の通りのごみステーションでは、違反ごみの残留が目立つ。きれいにしていきたい。 また、年に1回老人会でボランティア清掃（秋吉公園～産業道路）をしているが、いつもごみが多い。市で剪定はしてくれているが、ごみ拾いにも気を配っていただきたい。</p>	<p>ごみの出し方のマナーが悪い。市民性に訴えるところも大きいですが、ルールを守ることをどのように伝えるかに尽きる。清掃を続けてくださっている方に甘えるばかりではいけない。 剪定については、放置すると見通しが悪くなるので管理が大変になる。植栽時に間引くことも必要だと考えている。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
<p><市役所からの放送について> 市長のコロナ感染拡大防止の放送を聞いている。風向きのせいもあるかもしれないが、聞き取りづらい時がある。</p>	<p>防災行政無線により放送しているが、市長が言うことで効果的だという声とうるさいという声が届く。お願いしなければならない状況下では、うるさくても放送を流す。 設備の問題があるなら、改善していく。</p>
<p><空き家対策について> 人口が減り、空き家が増えてきた。防犯上も良くないため、対策が必要である。</p>	<p>シルバー人材センターによる「空き家等の管理代行サービス」などを所有者へ案内している。 まずは持ち主の責任において管理するよう連絡していくが、空き家からの枝木や倒壊ブロックが通行の支障となり得る危険な場合には、行政でも対策を講じる。</p>
<p>まとめ</p>	<p><市長> 地区・校区それぞれに課題があるが、道路整備については多く寄せられる。優先順位等はあるが、皆さんの声を聴きながら対応していく。 <連合自治会長> 「継続は力なり」と思っているので、皆さんと一つずつ課題を考えながら、これからもっと、西条校区を良くしていきたい。</p>

<当日の様子>

